



せいか

# 議会だより

2017年2月1日発行

12月会議

No.155



大ひめ縄張り替え

裏面に撮影者  
"ひとこと"



**中学校エアコン設置**(平成30年1月工事完了予定) .....2~3ページ

**議会改革 事務事業評価の結果公開!!** ..... 17ページ

**ワールドカフェ方式の議会報告会**... 18~19ページ



# エアコン設置

## 工事完了予定

【概要】(第6号)  
補正額 4億4235万円 中学校空調設備、要・準要保護児童就学援助など。

【問】空調設備稼働までのスケジュールと運用基準の策定は。

【答】実施設計は29年1月25日まで、工事は平成30年1月完了予定。またエアコンの運用基

【概要】  
条例一部改正  
税 条例

【問】要・準要保護者就学援助の対象者が増加した理由は。

【答】新人生保護者への周知徹底により、新しい申請者11名、一年生20名、転入者12名です。

【概要】  
町民税の延滞金計算の見直し、スイッチOTC医療費控除特例など。

【問】スイッチOTC医療費控除(※)で、検診

【概要】  
条例制定  
農業委員会の委員等に関する

【問】要・準要保護者就学援助の対象者が増加した理由は。

【答】新人生保護者への周知徹底により、新しい申請者11名、一年生20名、転入者12名です。

【概要】  
町民税の延滞金計算の見直し、スイッチOTC医療費控除特例など。

【問】スイッチOTC医療費控除(※)で、検診

【概要】(第5号)  
補正額 16445万円  
職員給与、手当など

【全員賛成可決】

【概要】  
条例一部改正  
税 条例

【問】要・準要保護者就学援助の対象者が増加した理由は。

【答】新人生保護者への周知徹底により、新しい申請者11名、一年生20名、転入者12名です。

【概要】  
町民税の延滞金計算の見直し、スイッチOTC医療費控除特例など。

【問】スイッチOTC医療費控除(※)で、検診

【概要】  
条例制定  
農業委員会の委員等に関する

【問】要・準要保護者就学援助の対象者が増加した理由は。

【答】新人生保護者への周知徹底により、新しい申請者11名、一年生20名、転入者12名です。

【概要】  
町民税の延滞金計算の見直し、スイッチOTC医療費控除特例など。

【問】スイッチOTC医療費控除(※)で、検診

# 本会議

## 一般会計

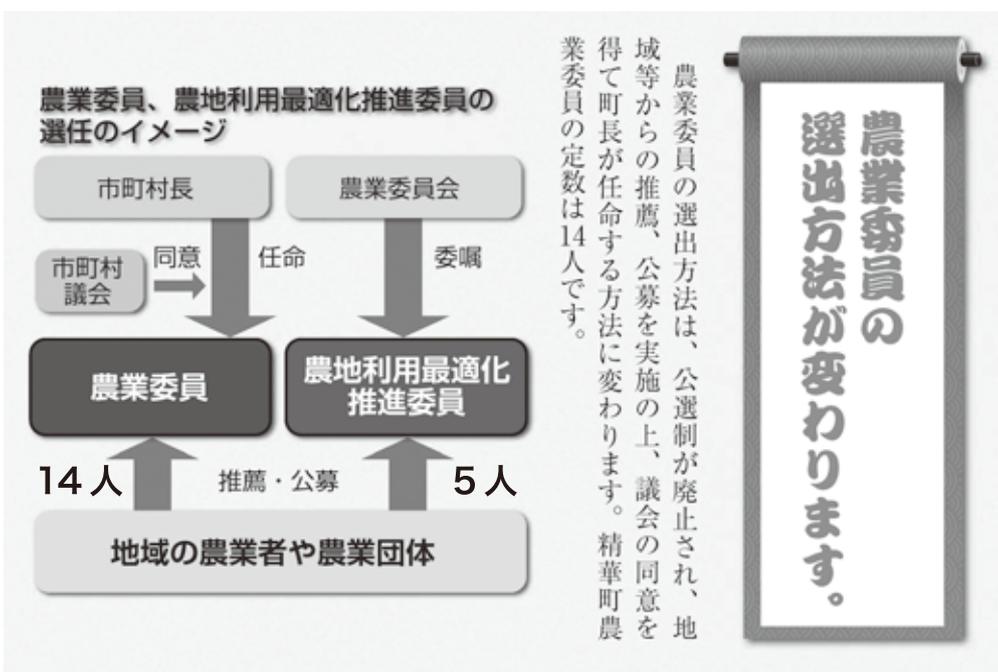
12月会議は、12月7日から22日までの16日間開催しました。町長提出議案は、人事3件、補正予算3件、条例制定1件、条例一部改正5件、契約1件、取得1件の計14件を慎重審議の結果、すべて同意・可決しました。また、意見書3件が提出され、その内2件を可決し、請願1件は不採択としました。

準は稼働までに作成する。や予防接種での医師の関与があるものに限るとは。

【問】要・準要保護者就学援助の対象者が増加した理由は。

【答】健康増進のため検診、予防接種を受け、医師が所見していることが要件となる。「反対討論あり」

【賛成多数可決】  
※スイッチOTC医薬品とは…医師の判断でしか使用できなかった医薬品を薬局で買えるようになった。



28年度  
定例会  
12月会議

# 町内中学校

平成30年1月



## 契約

コミュニティ  
ホールの指定  
管理者の指定

### 【概要】

運営管理業務を近鉄  
ビルサービス株式会社

人、農地利用最適化推進委員（新設）を5人とする。及び選定委員会の設置。

**問** 農業委員の構成は、認定農家が半数以上とする。

【反対討論あり】

【賛成多数可決】

に指定する。

期間は29年4月1日から3年間。

**問** 選定基準検討結果の各委員の評価点がわからないので公開を。

**答** 全委員の評価点については町ホームページで公開する。

【全員賛成可決】

## 請願

中学校で給食  
実施を求める

### ■反対討論

行政も町長を先頭に  
着実に財源確保に努め  
ながら給食を含めた教  
育環境整備を確実に進  
めていることからあえ  
て採択は必要ない。

### □賛成討論

中学生の食育は極めて  
重要であり、保護者  
の8割が強く希望して

いる。財政的に厳しい  
状況でも早急に実施す  
ることを強く求める。  
【賛成少数不採択】

## 《意見書》

南スーダンへの派遣自衛隊撤退  
を強く求める意見書（案）

### ■反対討論

自衛隊の駆けつけ警護は、戦闘行為でなく  
人道的応急的な保護処置であり、派遣自衛隊  
の撤退には反対である。

### □賛成討論

南スーダンでは、国連にPKOを派遣要請  
する側が、国連を攻撃しており、自衛隊が入  
ることは、憲法上認められていない。  
【賛成少数不採択】

## 総務大臣より感謝状



平成28年10月14日、  
奥野卓士議員に対して、  
35年以上、町議会議員  
を務めた功労で、総務  
大臣より感謝状が贈呈  
されました。

# 国への意見書提出

## 学校給食施設整備のために国庫補助の増額を求める意見書

国においては、安全性・機能性の確保に学校施設環境改善交付金による老朽化対策を中心とした学校施設の耐震化補助率の底上げと、災害時の防災機能の強化、教室不足への対応に努力されており、「子どもを守る町宣言」を持つ本町においても、財源厳しい中で、最優先に学校耐震化100%を達成したところである。

昨今、中学校給食においては、成長期にある中学生の体づくりのための食育の推進、共働きが増えている子育て家庭の支援のため、中学校給食の実施が強く求められているところである。平成23年9月精華町議会定例会において「町立中学校完全給食実施を求める決議」が全会一致で議決されている。

中学校の完全給食実施率は、全国平均81.4%（平成26年度調査結果）であるが、本町では財政的な理由で未だに実施できない状況である。法的には給食施設整備に関する国庫補助率は建設費の2分の1とされているが、補助単価が低く設定されているために、実質的には10数%の補助率でしかない。

国におかれては、すべての学校で早期に中学校給食が実施できるよう、国庫補助基準引き上げと更なる増額に努められることを強く求める。

## 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

地方分権時代を迎えた今日、地方公共団体の自由度が拡大し、自主性及び自立性の高まりが求められる中、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が格段に重くなっている。

また、地方議会議員の活動も幅広い分野に及ぶとともに、より積極的な活動が求められている。

こうした中、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにすることが、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考える。

よって、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

(抜すい)

# 議案のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・一欠席・△退席]

種別	議案名と内容	掲載ページ	討論		結果	精華の会										共産党	公明党	会派に属さない				
			賛成	反対		森田	奥野	三原	山口	塩井	森元	宮崎	岡本	村田	坪井	佐々木	柚木	今方	内海	神田	山本	安宅
人事	町教育委員会委員の任命同意を求める (松本秀男氏)	—			同意	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町教育委員会委員の任命同意を求める (新司英子氏)	—			同意	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町教育委員会教育長の任命同意を求める (太田信之氏)	—	✓		同意	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	精華町の中学校で給食実施を求める	3・7	✓	✓	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	○	○	●	
意見書	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める	4	✓	✓	可決	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
	南スーダンへの派遣自衛隊の撤退を強く求める	3	✓	✓	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	○	○	●	
	学校給食施設整備のために国庫補助の増額を求める	4			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28年度補正予算	一般会計(第5号)(職員手当) 【1645万円増額】	2			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般会計(第6号)【4億4235万円増額】 (臨時給付金、水道事業経営戦略策定経費、3中学校エアコン設置事業等)	2・6			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	公共下水道事業特別会計(1号) 【2466万円増額】 (流域下水道の町負担分・精華11号汚水幹線事業の増額など) (公会計移行に伴う公営企業法適正化事業の継続費期間が1年延長)	6			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例制定・改正	農業委員会の委員等に関する条例制定 (新農業委員などの定数、報酬を規定、選挙による委員選出の廃止など)	2・7		✓	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
	職員の給与に関する条例等一部改正 【人事院勧告に準拠】 (給与・職員手当・共済費、特別職期末手当の改定)	—			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	税条例等一部改正 (町民税の延滞金計算の見直し、特定医薬品医療費控除の特例など)	2・6		✓	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
	国民健康保険税条例一部改正 (外国居住者の特例適用利子・配当などの保険課税算定の改定)	—			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例一部改正 (サービスに「地域密着型通所介護」の追加など2事項の改正)	—			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	京都地方税機構規約一部改正 (自動車取得税、自動車税、軽自動車税の申告受付事務を追加)	—		✓	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
契約	町コミュニティーホール指定管理者の指定(近鉄ビルサービス株式会社を指定管理者に指定)	3・7			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
取得	東光小学校コンピュータ備品の更新 【取得価格430万円】 (タブレット機器40台、関連機器など)	7			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

本会議  
意見書  
表決結果  
常任委員会  
一般質問  
議会講演会  
議会改革  
議会報告会  
その後を追う  
街をつくる人

# 新たな医療費控除減税

常任委員会

## 低所得者に臨時福祉給付金

### 予算決算

### 28年度補正

### 一般会計

【概要】(第6号)

(2ページ参照)

**問** 経済対策臨時福祉給付金と当初予算の福祉給付金と重複するが、申請漏れがないように。

**答** 対象者には、色の違った封筒で申請書を送付する。

**問** 中学校の空調設備を先行した理由は。

**答** 学習時間が長い、教育内容が複雑などの理由

である。

### 特別会計

### 公共下水道事業

【概要】

建設事業負担金及び継

続費の延長。2466万

円  
継続費が2年から3

年になった理由は。

**答** 仕様書に時間がかかり発注まで時間を要したため。

【全員賛成可決】

**確認じゃ！2つの給付金。**

平成28年度臨時福祉給付金  
1人につき3千円

支給対象者  
平成28年度分の住民税が非課税の方  
（平成28年度分が課税の方でも平成28年度分の所得が一定以下の方）

障害・遺族年金受給者向け給付金  
1人につき3万円

支給対象者  
平成28年度臨時福祉給付金の支給対象者のうち、障害基礎年金や遺族基礎年金等を受給している方  
（平成28年度分の所得が一定以下の方）

※ 両方の支給対象者に該当する方は、2つの給付金を受給できます。

※ 給付金を受ける際には、申請が必要です。

※ 申請日は、平成28年11月1日時点での住所が有効です。

※ 各市町村にて申請受付期間が異なります。

## スイッチOTC医療費控除特例で減税

### 民生環境

### 《条例一部改正》

### 税条例等

【概要】(2ページ参照)

**問** スイッチOTC医薬品(※)の領収書が必要とのことだが、誰が購入したか証明できるのか。

**答** 自主申告であり、証明はできない。

**問** がん検診などの結果に起因する薬でなくてもいいのか。

**答** 健康に対する取り組みとして、検診などを受けていることと、薬を1

万2000円以上購入することが適用対象となる。

【賛成多数可決】

「反対討論あり」

※スイッチOTC医薬品とは…

医師の判断でしか使用できなかった医薬品を、薬局で買えるようになった。従来の医療費控除との併用はできない。

全国統一マーク

**セルフメディケーション**

**税控除対象**

熱・のどの痛みに効く 第2類医薬品

新JFSMIかぜ薬

セルフメディケーション 税控除対象 30錠

# 東光小学校にタブレット導入

## 総務教育

### 《取得》

東光小学校  
コンピュータ  
備品の取得

#### 【概要】

タブレット40台、ハードウェア・ソフトウェア一式。430万円

**問** 全国でICT教育が進められている中で、本町においては1年に1校であり、更新スピードが遅いと感じる。町内で教育の格差ができるのは大きな問題ではないのか。  
**答** 行政も同じ思いである。今年度、ICT教育の推進委員会を立ち上げ、限られた予算の中でどのような形で導入していくのがよいかなど、引き続き協議していく。

【全員賛成可決】

### 《契約》

コミュニティー  
ホールの指定  
管理者の指定

#### 【概要】（3ページ参照）



小学校のタブレット授業

**問** 備品の破損や劣化などの対応は。これまで更新はされたのか。  
**答** 備品は町から無償で貸与している。経年劣化など使用に支障をきたす場合は、協議の上、町が

購入または調達する。現在まで更新はない。

**問** 事故や災害など緊急時の体制は。  
**答** 協定書の通り、指定管理者が対応する。

**問** 営利目的での利用と一般住民の利用件数は。  
**答** 平成27年度の利用件数は、一般住民が530件、営利目的が390件、減免が74件、全額免除が16件、町外が3件の合計1013件である。

【全員賛成可決】

### 《請願》

中学校で給食  
実施を求める

**問** 給食実施に向けての具体的な動きは。  
**答** 《行政》本年度は基本構想に向けた基礎調査、来年度以降は施設の整備に向けた財源確保と基本構想の策定を進めていく。

【賛成少数不採択】  
〔反対・賛成討論あり〕



光台のコミュニティーホール

### 《条例制定》

農業委員会の  
委員等に関する  
条例制定

#### 【概要】（2ページ参照）

**問** 農業委員と農地利用最適化推進委員と、行政との関わりは。  
**答** 農業委員と推進委員を含めて農業委員会と位置づけ、相互に連携し、行政と推し進めていく。

**問** 業務量に対して推進委員の報酬は妥当であると思うが、どのような考え方で決めたか。  
**答** 農業委員と推進委員は両輪で農業行政を進めていくので、同額とした。

【全員賛成可決】

## 農業委員会 公選制廃止

## 建設産業

# 「ここが、聞きたい」 一般質問 Q&A

13人の議員が町長・教育長に質問しました。

掲載は質問者順で、内容は本人から提出された要約です。なお、「会議録」や「議会中継録画」は、議会ホームページで閲覧できます。

一般質問は、議員の調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育委員会などの施策を問うものです。

質  
問  
席

ページ	質問事項	質問議員
9	1. 地震対策は 2. 協働のまちづくりの推進	塩井 幹雄
9	1. 交通問題と交通安全対策 2. 公共施設の活用	佐々木雅彦
10	1. 交通安全灯の設置 2. 健康長寿への取り組み「精華町版・健康ポイント制度」の導入	今方 晴美
10	1. 変わりゆく教育環境に対応して	宮崎 睦子
11	1. 防災関係の取り組みは 2. 防災対策に関連する取り組みに対する提案	山本 清悟
11	1. 狛田地域の整備事業の進捗は 2. 市街化調整区域の土地利用 3. 自治会加入促進条例	安宅 吉昭
12	1. 中学校の2学期制の検討は 2. 学校施設の改善、美化と衛生環境	柚木 弘子
12	1. 防災について 2. 行政対象の危機管理は	森元 茂
13	1. 中学校給食の進捗は 2. 中学校の2学期制	神田 育男
13	1. 水道事業の展望は 2. 学研精華・西木津地区における道路整備計画の進捗状況	岡本 篤
14	1. 安全でおいしい中学校給食の早期実施を 2. 安心できる介護保障	坪井 久行
14	1. 防災	村田 周子
15	1. ゾーン30規制	三原 和久

○ 質問者順に掲載しています。  
□ は、本文以外の質問事項です。

# 協働のまちづくりの推進を



塩井幹雄議員

## A 交流・連携の場づくりを進める



協働作業の里山

- Q** 人口の減少・高齢化が進む中、住みやすいまちづくりを実現するには、地域の主体的な取り組みが重要である。協働のまちづくりの認識は。
- A** 自治会活動と、各種団体による町民活動を活性化させるとともに、交流・連携の場づくりを進めて、住民主体の活動を盛んにする。
- Q** 地域活性化の方策は。
- A** 協働のための交流連携と公共的活動支援、人材の育成に取り組む。
- Q** 地域提案の協働事業の創設は。
- A** 創設の計画はない。
- Q** 地震対策について
- Q** 予想される東南海地震がおこれば、甚大な被害がでる可能性がある。現在の防災計画は。
- A** 公共施設などの耐震化を図り、発生時の被害を最小限に食い止める。
- Q** 住民の避難通報は。
- A** 発生後は被害状況により避難勧告を行う。
- Q** 課題と対策は。
- A** 個人住宅の耐震化の促進、避難所の運営、支援物資の受け入れ、車中避難者への対応である。

# 公共施設利用料の見直しを



佐々木雅彦議員

## A 再検証する必要がある

- Q** 公共施設利用料は、平日と、休日で率が異なる。勤労者も増加しており、平等にすべきだ。
- A** 勤労者利用促進の観点からも再検証する。
- Q** 図書館の一階集会所を貸出し可能に。
- A** 数年かけて課題と対策を整理したい。
- Q** 華広場野外ステージのあり方を見直しては。
- A** にぎわいを生み出す利用方法を研究する。
- Q** 交通安全対策は急務だ
- Q** 各地で車による歩行者の死傷事故が相次いでいる。物理的に安全策を講じるべきだ。
- A** 交通量の多いところから防護柵設置を進める。
- Q** 公共交通中心に転換を
- Q** 高齢化も進み自家用車から公共交通への利用転換誘導が必要だ。
- A** 連節バスを基幹に、路線・くるりん・高速バスとの接続を図る。
- Q** 祝園駅前広場の改造計画は。
- A** 一般車のレーンを分離する。バス降車場を府道の西に移動するなどを考えている。
- Q** 北陸新幹線の誘致に関する情報公開を。
- A** 必要な情報は、住民に提供する。



むくのきセンター

# 「健康ポイント制度」 (精華町版)の導入を



今方晴美議員

## A 平成30年度導入に向けて検討中



健康づくり講座

**Q** 住民の誰もが、いつでも自主的に健康づくりや社会参加への実践活動ができるように、「健康ポイント制度」の導入を再三求めてきた。進捗を聞く。①早期実施を②対象年齢は幅広く③ポイントの対象となる活動は幅広く④貯まったポイント交換は⑤協力店を増やす取り組みを。

**A** ①30年度を目途に実施する②20歳以上を考えている③検診の受診、各種の健康イベントやボランティア活動、ウォーキングなども対象とする④協力店で特典が得られる。仕組みを検討中⑤商店、事業所、法人など事業参加を呼びかける。

**Q** 交通安全灯の設置  
①山手幹線の役場交差点から精華台1丁目入口交差点までの歩道と②菅井地区の堀池義商店から山田川駅方面へ向かう八幡木津線沿いの歩道が暗く危険であり、住民から交通安全灯の設置要望を聞く。対策を。

**A** ①今年度、来年度で順次整備する②地元自治会と協議し、順次整備する。木津川市とも協議する。

# Q 本町中学校を 3学期制に戻す考えは

## A 今年度内にまとめ、明確にしていく



宮崎睦子議員

**Q** 来年度から、京都市の中学校が3学期制に戻ることになった。本町でも3学期制に戻してほしいとの声を耳にする。生徒にとって、最適な方向性を見出して頂きたいと思うが、いかがか。

**A** 学制のありかた懇談会で議論を重ね、パブリックコメントも実施し、今年度内に懇談会のまとめを行い、明確にしていく。

**Q** 南陽高校が2018年度に中高一貫校として開校される。①本町における影響は②うわさ先行にならぬよう、正確で素早い情報収集に努めて頂きたいと考えるが、いかがか。

**A** ①学研都市の未来を担う有能な人材の育成が図られることを期待している。生徒数減少により適正な学校規模の確保に影響が出ないか、過度な受験競争が生じないかなど懸念される②府教委と協議しながら、丁寧に保護者や子どもに説明する。

**Q** 教育環境整備には多額の財源が求められている。町教委主催事業の縮小や統合が必要と考えるが、いかがか。

**A** 精査検証を行う。



中高一貫校になる南陽高校



# 通学路の沿道建物の耐震診断の無料化を



山本清悟議員

## A 受益者の一定の負担は必要である



精華台小学校の北側斜面

- Q** 通学時の安全確保と震災時の避難通路確保に、沿道建物の耐震診断の無料化または補助金の増額を提案する。
- A** 受益者の一定の負担は必要であり、無料化や補助金の増額は考えていない。
- Q** 府は災害時緊急輸送道路の確保で、沿線建物の診断の義務化と全額補助をしているが。
- A** 通学路の安全確保、耐震化促進の重要性は認識している。代替策のない通学路・避難通路の課題は残る。
- Q** 学校の土砂災害の対策
- Q** 精華台小学校の北側斜面の土砂災害（特別警戒・警戒）指定区域に対する対策は。
- A** 町内指定地域のハード対策はしていない。ソフト対策は、防災マップで啓発。発生時対策は、避難情報発令の体制をとっている。
- Q** 学校関係者への指定に対する対応などは。
- A** 指定は、斜面の上側の学校に危険が及ぶことは考慮していない。
- Q** プールの場所が警戒区域に入っている。知っておくべきだが。
- A** 法律の趣旨から下流域に周知している。課題の共有は検討する。



# 狛田駅東土地区画整理事業の進捗は



安宅吉昭議員

## A 財源を確保して平成29年度完了を目指す

- Q** 狛田駅東土地区画整理事業は29年度完了するのか。住民が期待している近鉄狛田駅の改良工事、都市公園の整備、商業施設の誘致は進むのか。
- A** 今年度工事は狛田駅東線の植栽工事、1号公園の整備工事を予定。29年度は2号公園整備工事と近鉄狛田駅駅舎の改良工事を予定。29年度の工事完成に向け取り組んでいる。商業施設は地権者による法人と情報共有して誘致に取り組む。
- Q** 住民への情報提供が少ない。「華創」やホームページによる積極的な発信が大事では。
- A** 「こまだ駅東まちづくりだより」以外にも、できるかぎり情報発信に努めていきたい。
- 自治会加入促進の条例制定を**
- Q** 協働のまちづくりを推進するには、地域コミュニティの基礎単位である自治会との連携が土台となっている。そのため、自治会加入促進の条例を制定する考えは。
- A** 条例制定にはなじまないが、町も自治会加入促進を一緒に考えていきたい。



工事が進む狛田駅東1号公園



# 中学校2学期制を 3学期制に戻す検討を



議員 楠木弘子



## 学期制の懇談会と パブリックコメントで結論を出す

**Q** 全国的にも3学期制に戻す自治体が多くなっているが、本町での考えは。

**A** 社会状況の変化もあり、より良い学期制を考えるため、PTA会長を交えて「学期制あり方懇談会」を開き意見を聞いた。今後も続けて聞き、意見をまとめて教育委員会の方針を出し、1月末にはパブリックコメントを実施する。それらにより、今年度中に結論を出す。



小学校の和式トイレ

**Q** 学校の衛生環境整備を老朽化した学校施設の整備計画は。

**A** 長寿命化計画としての改修は、国が定めた平成32年までに策定し、財源確保に努める。緊急の部分改修は状況に応じて行う。

**Q** 和式トイレを洋式トイレにする計画は。

**A** 直ちにトイレ改修に着手できないが、清掃や臭気対策を行う。専門業者の清掃導入も調査している。

**Q** トイレ改修費用の国庫補助は。

**A** 400万円以上の事業で3分の1補助だが、活用が難しい。



# 危機管理対応 マニュアルの整備は



議員 森元 茂



## 不当要求行為など、対策に関する要綱を 制定している

**Q** 新たな防災教育として、全国の小・中学校を対象に、研究や体験などを発表する「防災甲子園」という取り組みがある。

### 新たな防災教育の 取り組みは

**Q** 最近、行政窓口で放火や殺傷事件、不当要求などを起こす住民、通称「クレイマー、モンスターペアレント、マニア」などへの対応は。また、対応者のアフターケアは。

**A** 要綱に基づき実施している。具体的なケースを整理し、来年度早々に新たな段階に入りたい。

**Q** 最近、行政窓口で放火や殺傷事件、不当要求などを起こす住民、通称「クレイマー、モンスターペアレント、マニア」などへの対応は。また、対応者のアフターケアは。

**A** 現在、発達段階に応じた防災教育を各学校でしているが、「防災甲子園」の取り組みについて、まず詳細を勉強する。

● エリアメール「緊急地震速報」の活用について質問しました。





# 中学校給食は町長の選挙公約では



神田育男議員

**A** 「任期中に実施する」とは公約していない

**Q** 選挙カーで「財源を確保して中学校給食を実施する」と、何回も繰り返していたので、選挙公約では。

**A** 「任期中に給食が前進するように努力する」と言ったが「任期中に実施する」とは公約していない。

**町立中学校の2学期制の早期見直しを**

**Q** 「2学期制はテストの回数が減ることで範囲が広くなり大変だ」「学期を小学校にあわせてほしい」「3学期制の復活を求める声は少なくない。保



護者や生徒の声をどのよう  
に反映させようとしているのか。

**A** 今年度は、保護者を交えた「学期制のあり方検討会」を開催することとし、保護者や生徒の声を聞かせていただく。今後は、パブリックコメントも実施し、今年度中に懇談会のまとめを行う。



# 水道事業の健全経営の方策は



岡本 篤議員

**A** 中・長期の財政計画を策定している



北 稲 排 水 池

**Q** 現状では、水道事業財政調整基金を取り崩して運営されている。その基金の枯渇問題、給水人口の減少、施設や設備の老朽化、耐震化などの課題があるが、今後の取り組みは。

**A** 府内で最も安い料金で供給している。今後も、府営水道の受水費の軽減を要望し、健全経営のための中・長期財政計画を策定する。

**Q** 中・長期財政計画の具体的な内容は。

**A** 策定中なので答えられない。策定に向け設備の耐震化や更新、長寿命

化対策などを調査中で、その結果や基金の活用を踏まえ計画を策定する。

**Q** 水道経営が住民にわかりやすく身近に感じられる財政計画を立てることが、将来の料金適正化が必要になった時の心構えになると思うが、今後PRなどを考えるのは。

**A** 現在、決算書をホームページに掲載している。また、施設見学なども行っている。今後は関心を持ってもらえるよう工夫し、PRしていく。

●学研精華・西木津地区における道路整備計画の進捗についても質問しました。



坪井久行議員

# Q 中学校給食実施の 明確な時期は

## A 平成30年度以降の見通し

**Q** 学校給食は、中学生の心身の発達のためには必要不可欠であり、保護者の8割が強く希望し、本議会でも完全給食実施を求める決議が議決されている。たとえ財政的に厳しくても未来を担う若者たちのために、思い切った投資をすべきでないか。①今年度学校給食基本構想の策定に取り組むとの基本方針だが、到達点は②給食実施の明確な見通しは③財政課題の検討目途は④直営方式で育んできた成果と課題は。

**A** ①社会的な背景による食意識の希薄化への対応、魅力ある食事の提供、防災時の住民の利用、将来的な生徒減少に対応した転用性などを幅広く活用できる内容を盛り込む②小中学校の空調設備整備完了後、平成30年度以降の見通し③補助基準面積や単価の拡充を国に要望する。設計業務の中で建設費を精査する④地産地消、手作りメニューの提供などは本町の特徴。一方、民間活力の利用など効率的な運営が課題である。

●安心の介護保障も質問しました。



黒豆ごはんの小学校給食

# Q 精華町防災小冊子を各戸に

## A 今後、検討していきたい



村田周子議員

**Q** 防災について各小学校区で、一年に一回、防災訓練をすべきでは。

**A** 各小学校区で、町が企画するイベントで体験し、ゲーム教材の貸し出しを進めていく。DIG・クロスロードゲームは来年度の自主防災会総会の場でゲーム体験を行う。

**Q** 今後、全ての小学校区の自治会と自主防災会が連携・協力し、自主的に防災訓練を行なう状況になれば、町及び消防本部が支援を行う。

**Q** 「まるごとまちごとハザードマップ」で水位がわかる表記を。

**Q** 自主防災会が未結成の9自治会に対しての働きかけは。

**A** 指定避難所の看板整備、水位の表記も検討する。

**A** 自治会懇談会で結成に向けての検討を依頼し、自治会に対して個別に働きかけている。

**Q** 改訂版の防災マップの見直しと、防災小冊子の作成は。

**Q** HUG・DIG・クロスロードゲーム、3ゲームの本町での展開は。

**A** 可能な限り平成29年度中に改訂し、その中で検討していきたい。



東京防災小冊子

# Q 桜ヶ丘地域に早期にゾーン30規制導入を



三原和久議員

## A 早い段階で導入に向け進めている



山田荘小学校西側歩道

**Q** 子どもたちがいつ、どこで、通学途中で事故に遭遇するかわからない中の悲しい事故がまた、起きた。横浜市内の市道で、軽トラックが軽乗用車に追突、軽トラックが横転し、登校中の小学生の列に突っ込んだ。このような痛ましい事故が起きないように、平成24年に亀岡市で起きた登校中事故を踏まえて、府内では区域を限定し、車の最高速度を時速30キロに制限する「ゾーン30」の導入を進めている。幹線道路からの抜け道として、通学路などの生活道路に進

入してくる車の速度を抑制する効果があった。今後町内での新たな「ゾーン30」規制予定は。  
**A** 地域住民の意識が高いことで継続した効果の発揮を期待できる地域として、現在京都府公安委員会と協議を行っている桜ヶ丘2丁目から4丁目に至る地域への導入に向けて進めている。  
**Q 通学路の安全対策**  
**A** 山田荘小学校西側歩道に、防護フェンス設置を。  
**A** 子どもたちの安全対策を考え、対応策を考える。

# お知らせ

■次回、平成28年度定例会 3月会議は、平成29年3月3日(金)からはじまります。

3月会議に、請願・陳情・要望書の提出をされる方は平成29年2月23日(木)午後5時までに、精華町議会事務局(町役場6階)へ提出してください。



あなたも議会を傍聴しませんか  
インターネット中継もご覧ください。

日程については、議会事務局へお問い合わせください。TEL: 95-1908 FAX: 95-3972  
<メールアドレス> gikai@town.seika.kyoto.jp



議会だより・会議録が「精華町議会」ホームページより検索できます。  
<http://www.town.seika.kyoto.jp/gikai/>

～ 幅広い人たちが議員として活躍できる議会をめざして～

# 議員の『定数・報酬について』の講演と意見交換

平成29年2月19日(日)  
午後3時～午後5時30分

精華町議会 本会議場  
(精華町役場庁舎 6階)

### ～ プログラム ～

- ① 開 会・あいさつ… (10分)
- ② 講演会 …………… (60分)  
講師 江藤俊昭氏  
<休憩 (10分)>
- ③ 現状説明 …………… (15分)
- ④ 意見交換 …………… (50分)
- ⑤ 閉 会 …………… (5分)

### 《意見交換会》

精華町議会では、平成25年の改選時より定数を18名(改定前:22名)に改定し、定数削減後の1期目が本年5月で任期が満了となります。これを前に、今期での活動などを総括するとともに、今後の議会がどうあるべきか、また、年齢、男女を問わず、幅広い人たちの意見をどのように反映させることができるかを検討しました。

結果、現状での議会活動などを通し、次期改選後の議員報酬のあり方を、議会の意見として取りまとめ、町長へ提出をしました。

今回、この内容等を、町民の皆さまに説明し、意見交換を行いたいと考え、この「講演会・意見交換会」を企画したものであります。多くの町民の皆さまの参加をお待ちしています。

### 講演テーマ

「住民自治の根幹」としての  
議会の作動させる  
～その条件整備を考える～



講師 江藤俊昭氏

山梨学院大学法学部教授  
同大学院社会科学部研究科長  
博士(政治学、中央大学)  
専攻:地域政治論、政治過程論  
山梨県経済財政会議委員  
鳥取県智頭町行政改革審議会会長  
三重県議会議会改革諮問会議議長  
第29次・第30次地方制度調査会委員等を歴任



議席 (先着 26名様)



車いすスペース (6名様)



傍聴席 (先着 58名様)

普段のときはお入りいただけない議場内(議席)にて、講演を聴いていただけます

# 事務事業評価の結果公開!!

## 議 会 改 革

前号（154号）でお知らせしたように、去る10月18日に来年度予算編成に反映してもらうべく、委員会から議長を通して町長に提出した事務事業評価の結果を報告します。

3月16日の方針提起より、委員会や会派で議論を重ね、結論を導きだしました。今年度会派で選定した7事業についての評価点・評価理由、また委員会の意見（今後の事業に対する改善意見）を以下に表記します。

事業名	評価点	評価理由	委員会の意見(改善意見)
公共的活動推進事業	55点	まちづくりの人材育成は必要である。2年目で成果も低く、道筋を示した実践が求められる。	全体的発展につながっていない。担い手が活動しやすいよう、支援体制の構築が必要。
精華町敬老会	56点	必要性は高いが、参加者減の理由などで開催単位・企画内容は複数の意見に分かれた。	企画内容と対象者の求めるものとズレがある。参加者が楽しめる場としてのあり方などを見直す必要がある。
廃棄物減量・リサイクル推進事業	72点	必要性は高い。さらなる住民意識への啓発が必要。公共性は意見が分かれた。	負担者と受益者のズレが存在する。住民の分別努力や協力の見える化が必要。
企業誘致促進事業	80点	地元経済波及効果の評価は二分した。進出企業が地元企業との関係を持っていないことはほぼ一致している。	雇用促進の期待が大きい。ため、雇用拡大につながる用地確保が求められる。また、教育面での協力を要請すべきでは。
まちづくり条例に基づく補助金	54点	既存団体では、地域活性化・コミュニティ育成に効果がある。他の地域への波及がみられない。	担い手育成と、活用しやすい条例内容整備と新規結成や活動定着に向けた支援強化が必要。
防火防災組織助成事業	46点	住民の防災意識向上など自主防災組織の必要性は高いが、地域間格差が認められる。	資機材の更新支援の具体化と、助成金支給から訓練指導までの支援体制が、必要不可欠である。
生涯スポーツ振興事業	68点	健康増進効果が検証されていない。町民体育大会の不参加地域増加を重く受け止める必要がある。	事業目的の検証が必要。全町的な参加イベントは必要だが、現在の体育大会の形式・内容は限界である。

※必要性・公共性・費用対効果・成果の4項目（各項目25点）合計100点を満点としました。

※評価理由・委員会の意見（改善意見）は、それぞれ抜粋しています。

# 平成28年度 議会報告会

## 好評を得たワールド・カフェ方式

10年後、どんな精華町にしたいですか？

### 精華町消防団との意見交換会

(※)ワールド・カフェ方式とは、新しい話し合いの手法であり、6人から8人（議員2人を含む）でテーブルを囲み、リラックスした良い雰囲気の中で話し合いを進める方式です。その結果、話しやすく発言が増え、さまざまな意見に触れ合える効果があります。

10月22日から26日にかけて、精華町議会基本条例第8条に基づき、町民との意見交換の機会として7回目の議会報告会を行いました。今年度は精華町消防団、精華町老人クラブ連合会の2団体と、住民を対象とした計3回を開催し、第2部の意見交換会では「10年後、どんな精華町にしたいですか？」をテーマに、ワールド・カフェ方式(※)を初めて導入しました。始終和やかな雰囲気、参加者の好評を得ました。伺いましたご意見やご要望は、今後の議会活動に生かします。また、議長を通じてすべてのご意見は町長にお届けしました。紙面の都合上、一部の紹介になりますがご容赦ください。

#### 開催日時・参加者等

対象団体名等	日時	会場	参加者数(人)		
			男	女	計
精華町消防団	10月22日(土) 19時～21時15分	交流ホール	33	2	35
一般住民	10月23日(日) 19時～21時30分	交流ホール	19	2	21
精華町老人クラブ連合会	10月26日(水) 10時～12時20分	交流ホール	12	0	12
合計			64	4	68



消防団入団促進に向けて

●消防団員の確保が困難。消防団の重要性や活動の住民への周知を強化し、入団促進につなげたい。

操法練習場を

●雨の時でも練習できるように、打越台の焼却場あとに、全天候型のグラウンドを造ってほしい。

まちづくり・基盤整備などについて

●狛田・祝園・山田川各駅周辺の整備を。特に祝園駅周辺に飲食店など大

型商業施設の整備を。

●山手幹線の全線開通を急ぎ、商店街をつくるなど、幹線道路の沿道の活用を図る。

### 住民との意見交換会

まちづくり・基盤整備などについて

●職住近接を進めるために、町内に産業を確保すること。

●新幹線・モノレールやけいはんな線延伸など交通利便性を図るとともに、駅周辺などの利便性を高めること。  
●蚊のいないまちに。

子育てについて

●母親が安心して働ける子育て支援体制を。

福祉・医療について

●老人ホームの増設と総合病院の設置を。

# 老人クラブ連合会との意見交換会

## 高齢者が安心して住めるまちに

●高齢者と若者が交流できる施設や、居場所づくりを。

●認知症対策、一人暮らしの高齢者が、安心して暮らせるまちであるように。また、年金生活でも安心して入居できる施設整備を。

●老人会・サロン等の活



動場所の確保と共に、内容の充実を図ってほしい。

●交通アクセスの充実を図り、外出しやすしい環境整備を。

●救急車が入れるように、狭い道路の整備と、救急搬送の体制の充実を。

●学研都市の良さを生かしながら、静かに暮らせる景観・環境保全の確保を。

## 質疑・応答

### 下狛京阪用地について

**住民** 下狛京阪の推進方法はどうか。

**議会** 学研用地が不足しており、都市計画審議会でも議論されている。

### 政務活動費について

**住民** 政務活動費の使用に疑問はないか。さらに情報公開を進めてはどうか。

**議会** 月7000円の低額であり、1円以上すべての領収書添付義務があるので、不正は起こりにくい。ただし、領収書のネット公開・後払い制などの検討をし、さらに見える化を進めたい。

### 狛田駅周辺整備について

**住民** 狛田駅周辺整備の請願はどうなったのか。議会 趣旨採択した。議

### 空き家・空き地に対する指導を

会としても、後追いつた」と考えている。

**町老連** 放置されている空き家が見受けられる。危険であり防犯上問題があるので、所有者への具体的な行政指導を進めてほしいが、いかがか。

**議会** 町は実態調査を始めたところ。その結果をもとに行政は対応を検討している。

するとしているの、議会も調査研究し取り組んでいく。

### 個人情報の取り扱いの検討を

**町老連** 要援護者・高齢者を支え合い守る地域づくりには、個人情報保護法がネックになる。解釈の検討をしてほしいが、いかがか。

**議会** 町の空き地適正管理に基づいて所有者に指導し、強制措置の取組みもしているとの認識をしている。議会としてもさ

**議会** 住民の思いを行政に要望として挙げていく。

## アンケートの集計結果

●アンケートの回答者数 61人  
(うち、男性58人、女性2人、無回答1名)

●アンケート回答者の年代  
20歳代=3人 30歳代=12人 40歳代=14人(うち、女性1人)  
50歳代=4人 60歳代=12人(うち、女性1人)  
70歳代=14人 80歳代=1人 無回答=1人

設問1	回覧	議会広報	紹介	掲示板	その他	無回答
参加のきっかけは	4人	6人	8人	2人	25人	16人

設問2	よい	わるい	無回答
開催の時期	51人	4人	6人
開催の時間帯	50人	9人	2人
報告会の内容	43人	12人	6人
報告会の資料	44人	7人	10人

	評価する	どちらともいえない	評価しない	無回答
報告会の評価	38人	18人	3人	2人

## どこまで進んだの!?

### 「京町セイカ」に係るクラウドファンディングの現状と、今後の展開は

その時の答  10日間で目標額の200万円を超えた。各種施設と連携し、科学のまち学研都市精華町を積極的にPRしていく。

その後現在は …… 最終的に約407万円の寄付を頂くことができ、当初の計画に沿ってキャラクターの声（ボイスロイド）とコスチュームの制作を行い、町のPR広報等に活用しています。（企画調整課）



### 防災訓練に、シェイクアウト訓練（一斉地震防災訓練）の導入を

その時の答  町全域を対象とした情報伝達訓練導入の際は、有効な訓練と考え、先進事例を研究する。

その後現在は …… 防災行政無線の導入後、防災の日などに合わせて、防災行政無線を活用した一斉地震防災訓練の実施について検討を予定しています。（危機管理室）

### 学校のトイレ改修が遅れている。洋式化を含めて早期の改修を

その時の答  トイレ改修については、公共施設等総合管理計画の方針に基づき、個別の施設計画として、大規模改修も視野に入れた学校施設の長寿命化計画を策定し、計画的にトイレの洋式化を進める。

その後現在は …… ただちに抜本的な改修をするまでには至っていませんので、トイレ清掃や臭気対策など、できることから着手しているところです。（学校教育課）

# 街をつくる人

76

精北小学校  
スクールヘルパー

## 「子どもたちを見守る！」

### 「おはよう」の声かけ

精華町『子どもを守る町』宣言（昭和43年制定）の趣旨を踏まえ、子どもたちの非行防止や安全確保、地域の防犯、また、学校と地域の人々との交流をより一層深めることをねらいとして、平成16年9月に「精華町スクールヘルパー」（学校安全地域ボランティア）が設置され、精北小学校区でも活動が始まりました。

活動場所は、まちまちですが、通学時の朝の「おはよう」との声かけとともに、交通量の多い場所や、通学路を一緒に付き添って、子どもたちの様子や成長、その日の体調まで見られるようになりました。現在は、26名（平成29年1月1日現在）で活動しています。

### 不登校がゼロ

学校とも、うまく連携を取って活動しており、小学校からは毎月



「学校だより」をいただくことで、月間行事を把握することができ、子どもたちへの声かけにも役立っています。

また、校長先生からは「1人で遅れてくる児童にも付き添って、学校まで来てくださるおかげで不登校がゼロです。」との嬉しい報告をいただきました。昨年度末には6年生から招待いただき、教室で一緒に給食を食べ、直接お礼のメッセージを聞かせてもらいました。

### 子どもたちから元気を

朝夕の登下校の活動に限らず、昔遊びや交通安全の授業のお手伝いに出向いたり、子どもたちと触れ合う機会を通して、活動メンバーも多くの元気をいただいでい



ます。

この12年の活動が評価され、「京都府交通対策協議会交通安全功労等表彰」の団体表彰を受賞しました。

代表者 神田 清司



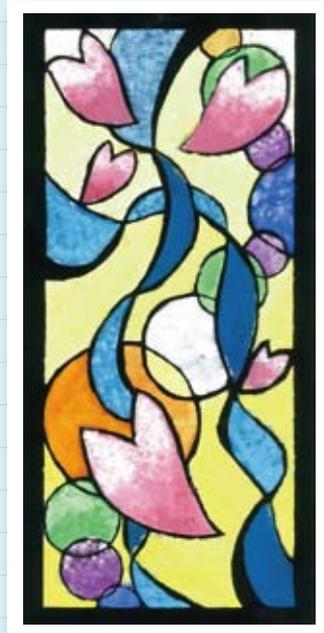
「秋」

なかにし りこ  
中西 理子さん (1年)



「走り抜ける」

なかはら すずか  
中原 涼花さん (1年)



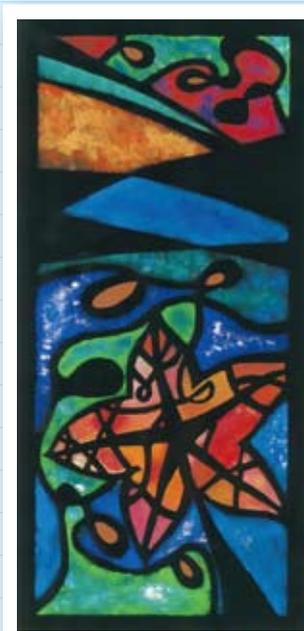
「春のそよ風」

はらだ  
原田 莉奈さん (1年)



「陰と陽」

きたがわ  
北川ちひろさん (1年)



「紅葉」

みずしま  
水島 鈴さん (1年)

## 表紙撮影者 “ひとこと”

伊藤 堅介さん (精華町文化協会・華写真クラブ)

鞍岡神社では、新年を迎える準備として、境内の大しめ縄の張り替えが行われました。この大しめ縄は、今年も自分たちで編み上げたそうです。

- 撮影日：平成28年12月31日 (土)
- 撮影場所：鞍岡神社 (下狘・僧坊地区)

## 編集後記

立春も過ぎ、暦の上ではすでに春。昨年も自然災害が各地でおこりました。議会では住民の生命と財産を守るため、減災対策に取り組んでいます。

昨年発表の「議会改革度調査2015ランキング」では、府内市町村第9位、全国629町村議会中、24

位という評価をいただきました。議会だよりを、いかにすれば住民の皆様が興味を持って読んでいただけるか、試行錯誤してきた結果、全国の議会からも研修に来ていただくまでになりました。

今後も独自企画をシリーズ化するなど、引き続き読みやすい「議会だより」を目指します。